

今日は住民人権学習についてお知らせします。

住民人権学習は、様々な人権課題や自治会が抱える課題について、人権の視点から考え、誰もがお互いを認めながら共に生きる「共生社会」の実現をめざして実施されています。

人権について学び、それぞれが理解を深めることで、地域の中で人権文化が広がり、暮らしやすい地域に繋がっていきます。

こどもから高齢の方、性別を問わず、一緒に学習していきましょう。

さて、今年度の学習テーマは「ネット社会における部落差別と人権」です。

現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトなどを通して自由に意見表明することができるようになっていきます。

一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価となるという誤った認識で、偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。

今回は、ネット社会における部落差別と人権をテーマとした、人権学習DVD「大切なひと」を紹介します。

この物語の主人公・愛依^{めい}は、大学の友人・大哉^{ひろや}が投稿サイトにアップする動画をいつも楽しみにしていました。日本史が好きな大哉は、各地を訪れてその歴史を紹介するチャンネルを運営しています。

ある日愛依は、大哉が投稿した動画が話題になったと聞きます。しかし、その動画とは、かつての被差別部落を訪れ、過激な編集を施したものでした。増え続ける再生回数に喜んで、次々に同じような動画をアップする大哉。コメント欄には差別を煽る書き込みが連なります。複雑な気持ちで動画を見ていた愛依は、そこに映っている家が小学校のころにかわいがってもらった、おばちゃんの家であることに気がつきます。愛依は大哉と話し合い、大哉は自分が過ちをおかしていたことに気づき、向き合っていくとします。

インターネット上では、自分の名前や顔を簡単には知られることなく発信することができるため、匿名性を悪用した人権侵害が発生しています。これをなくしていくためには、多くの人に人権学習に参加していただき、人権問題に対する正しい知識を身につける必要があります。そして正しい知識を家族や身近な人に伝えていただくことが、あらゆる人権課題をなくす近道につながります。

人権啓発センターや各住民センター・ライフピアいちじまでは、今日ご紹介したDVDの他にも様々なテーマのDVDの貸し出しを行っています。市のホームページにて、DVDの一覧をご覧ください。

また、人権啓発センターでは、初めての方でも住民人権学習をすすめられるよう「住民人権学習のすすめ方ガイドブック」を作成しました。基本的な学習会の流れや学習に活用できる様々な資料などを掲載していますので、ぜひホームページからご覧ください。